

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 琴音

作成日: 令和 4 年 3 月 23 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の下、対面での会議が難しい時には書面での報告を行なっている。時々コミュニケーションを取ることで、外部の委員との関係が途切れないように努めていく。また、コロナ収束後には、参加委員を増員し、多方面からの情報収集と活発な意見交換が出来る会議を目指していく。	電話やメール、書面で外部委員からの意見や情報を収集して議事録にまとめる等、やり取りを通して関係を継続していく。また、地域住民、元家族、他事業所管理者等、幅広く委員を募り、ホームの問題だけでなく、地域の課題についても話し合える会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、ユニットが2階にあることから、特に職員がユニットに1名になる夜間想定訓練を重点的に行っていく。	夜勤を担う職員を中心に夜間想定訓練を実施し、夜間一人で9名の利用者の避難誘導を落ち着いて行うことのできる体制を整えていく。また、近くに住む職員や家族、地域住民との協力体制の確認を定期的に行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。